

1. 研究目的

現在の高校生と大学生との教科書には難易度に大きな開きがある。この開きを埋めるため、大学生以上の女性もしくは女子学生の興味を引きやすい「恋愛模様」に見立てた教育ツールを作成し、科学の理解を促す。

2. 調査内容(事前調査)

書店に置かれた際、目を引くデザインは何かを考え調査を行った。

(1) 各出版社が行った「文庫本カバーで、商品の価値や消費者の購買意欲はどのように変わるのか」の調査では、コミックイラストの表紙デザインには、1番目立つ・内容に興味を持つなどの意見が多く、柄のデザインには、外で呼んでいても恥ずかしくないなどの意見が見られた。

(2) 次に他の本と差別化を図るため、書店の恋愛コーナーの表紙を(女性のイラスト・写真・文字だけ・柄・ギャグイラスト)に分け、どんな本が多いかを調べた。結果、柄、写真が使われた表紙が多いことが分かった。

3. コンセプトおよびアイデア展開

書店に置かれた際に他の本との差異化を図り、購買意欲を促進できる表紙を考える。



(1)の結果から、A案・B案の2種類を試作品として作り、文化祭でアンケート調査を行った。結果、「どちらが手に取りやすいか。」という質問に対し、A案 166人・B案 88人など、シンプルなものの方が好まれる傾向にあるとわかった。その他、表紙への意見では、B案は手に取りにくい・シンプルなものがいい・電車で読むのは難しい、などの否定的な

意見が多いが、一方で、手に取りやすいのはAだけど目がいくのはBなどの意見も得られた。全体的な意見としては、人物の写真、派手、などの表紙が手に取りにくいデザインであることがわかった。

4. 最終提案(作品)



表紙デザインはB案を使いカバーをはずすとA案のシンプルなデザインで使える二段構造にして、アンケートの意見にもあった普段使いには向かないという点を改善した。手に取りにくいという点を改善するために、彩度を調節し女性を目立たなくした。背景の瓶や壁を更に描き込み、より現実感を出すようにした。

また著者の意見(タッチを柔らかく・構図はOK・眼鏡をかけて大人っぽい女性の感じでもいい・色のトーンをもう少し落とした方がいい)を反映した。

ターゲットユーザである化学に苦手意識のある人は、化学の要素を全面的に押し出すと手に取らないと考え、一目で化学の本だとわからないデザインにした。ここでは、AIDMAの法則を使い、まずは興味を持ってもらうためのデザインにした。

5. 今後の発展

理系女子の恋愛をシリーズ化する場合は、今回のデザイン案の調査を次に反映させる。

文献

- http://www.nikkeibp.co.jp/article/column/20130828/362942/?ST=p_bizboard&bzb_pt=0
<http://president.jp/articles/-/13289>
<http://yoicomic.blog24.fc2.com/blog-entry-150.html>
<http://www.medi-graph.com/contents/essay/manual/004.html>